



# 第3回 自動売買4つの取引手法と運用手順

## 取引手法①ナンピン

### ●ナンピン(難平)とは

現在価格よりも「上がる(下がる)」と予想して「買い(売り)」ポジションを持ったのに、逆に価格が下がってしまった(上がってしまった)ときに、追加で、「買い(売り)」ポジションを持つトレード手法です。

<http://the-catcher-in-the-fx.com/nanpinma-tin/> から引用

<http://efxcursion.com/256.html> から引用



1ドル=80円  
で1万ドル  
買い

1ドル=76円  
で1万ドル  
追加買い

### ナンピン

1ドル=78円  
以上で  
損益プラス

## 取引手法①ナンピン

### <メリット>

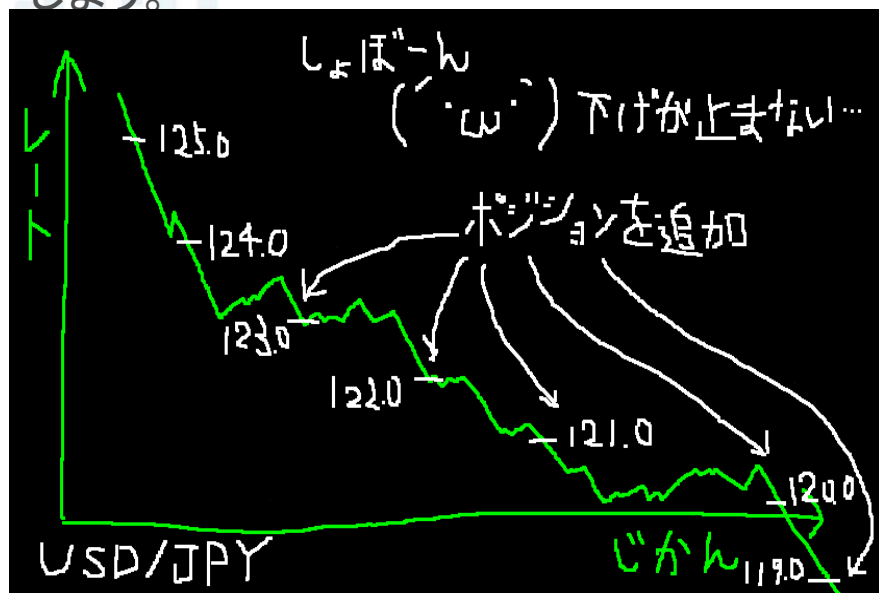
ポジションの平均価格を良い方向に修正できる。  
ポジションが反対方向に動くたびにポジションを追加することで、±0ラインを引き下げることができます。

### <デメリット>

最初持っていたポジションにドンドンポジションを追加していく為、ポジションサイズが拡大してしまう。

<http://efxcursion.com/256.html> から引用

<http://the-catcher-in-the-fx.com/nanpinma-tin/> から引用



### <ドル・コスト平均法の効果>



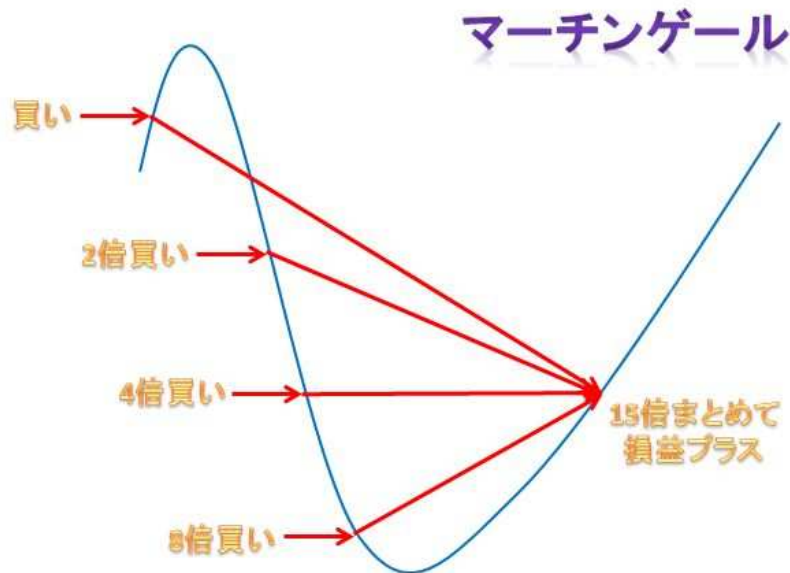
基準価額が高いときは少ない購入口数、低いときは購入口数が多くなるから効果的！

**ドル・コスト平均法が使えると平均購入単価を抑えることができる！**

<http://wol.nikkeibp.co.jp/article/column/20100129/105733/> から引用

## 取引手法②マーチンゲール

●マーチンゲールとは  
ナンピンとは、現在価格よりも「上がる(下がる)」と予想して「買い(売り)」ポジションを持ったのに、逆に価格が  
下がってしまった(上がってしまった)ときに、追加で、複数の「買い(売り)」ポジションを持つ  
トレード手法です。



### <メリット>

マーチンゲールは倍加したポジションを追加することで

ナンピンよりも効率的に  
ポジション平均価格を変化させることができます。  
ナンピンよりもポジション保有時間短縮が可能

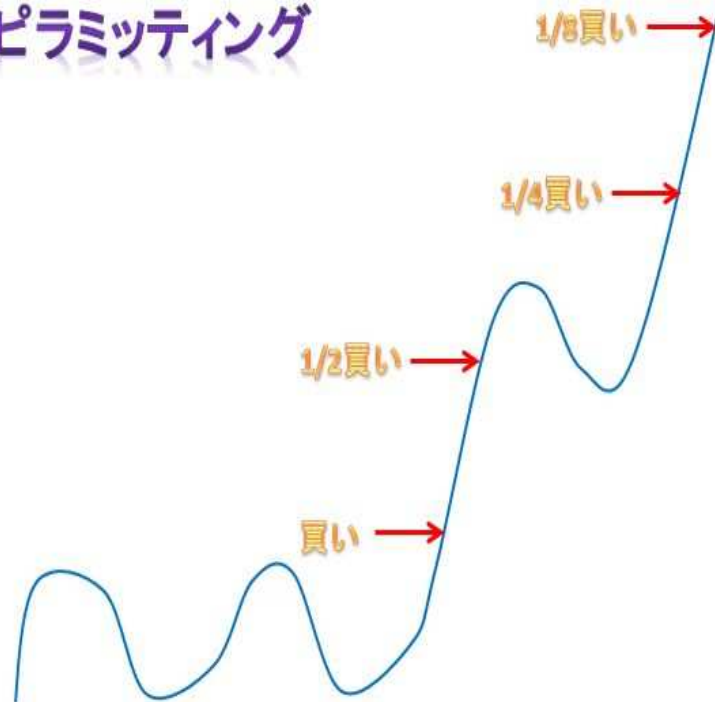
### <デメリット>

最初持っていたポジションにドンドン  
倍々でポジションを追加していく為、  
ポジションサイズが急激に拡大してしまう。

## 取引手法③ピラミッシング

●ピラミッシングとは  
ピラミッシングとは、利益が出たらさらにポジションを増やして、より大きな利益を狙っていく手法です。

### ピラミッシング



#### <メリット>

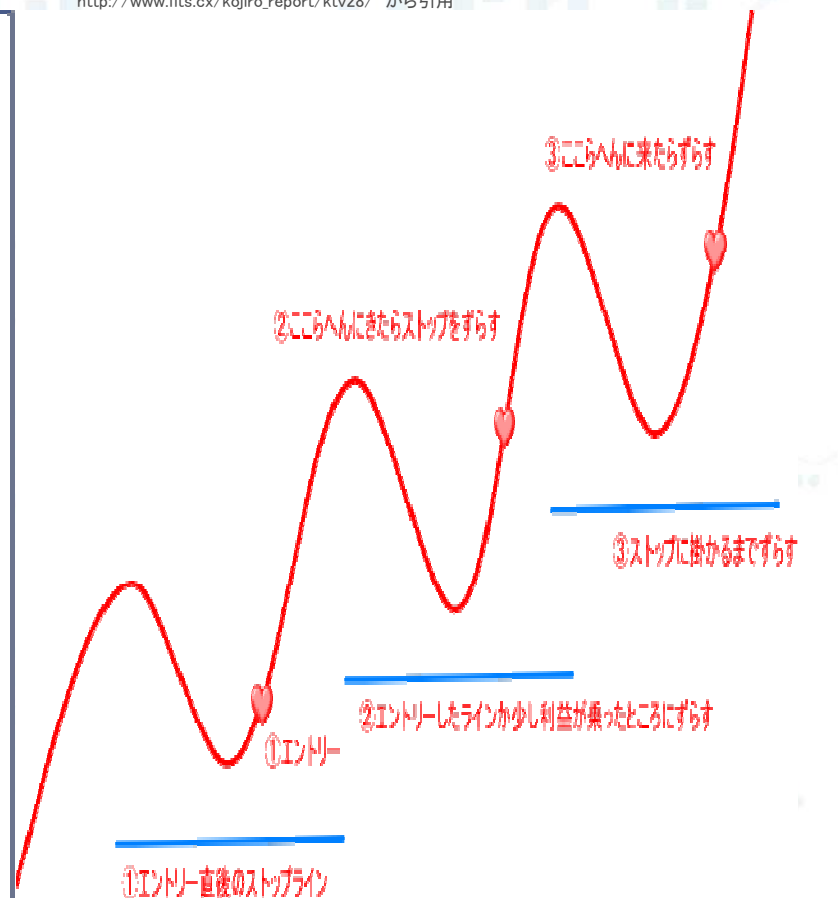
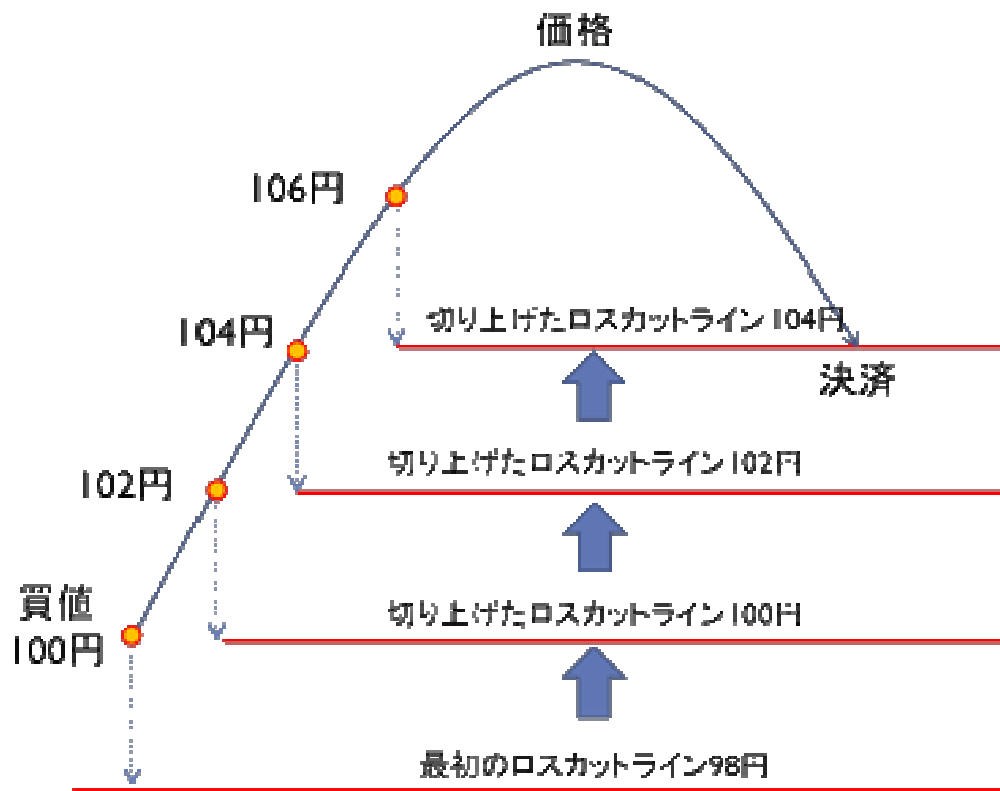
トレンドの押し目買い、戻り売りでエントリーをするが、**トレンド継続性を読むのが極めて困難**

#### <デメリット>

トレンドが崩れた時、**トレンドを読み間違えた時に、ポジションサイズが大きいため、損失が大きくなる。**

## 取引手法④トレーリングストップ

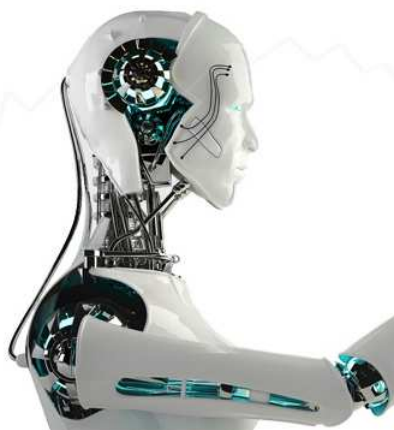
### トレーリングストップによるロスカットライン



取引手法の間違った情報  
ネット上には  
『複数ポジションが怖い』、  
『ナンピン危険！』、  
『ナンピン・マーチンゲールが危険！』  
という言葉もあります。

<原因>

- ・ロボットの仕組みが分かってない。
- ・余裕資産でロボットを使っていない。
- ・(超少額資金でロボットを使用している)
- ・ロット数を大きくしすぎている。



## 取引手法の実例

表示期間

1M

3M

6M

12M

24M

ALL

表示期間

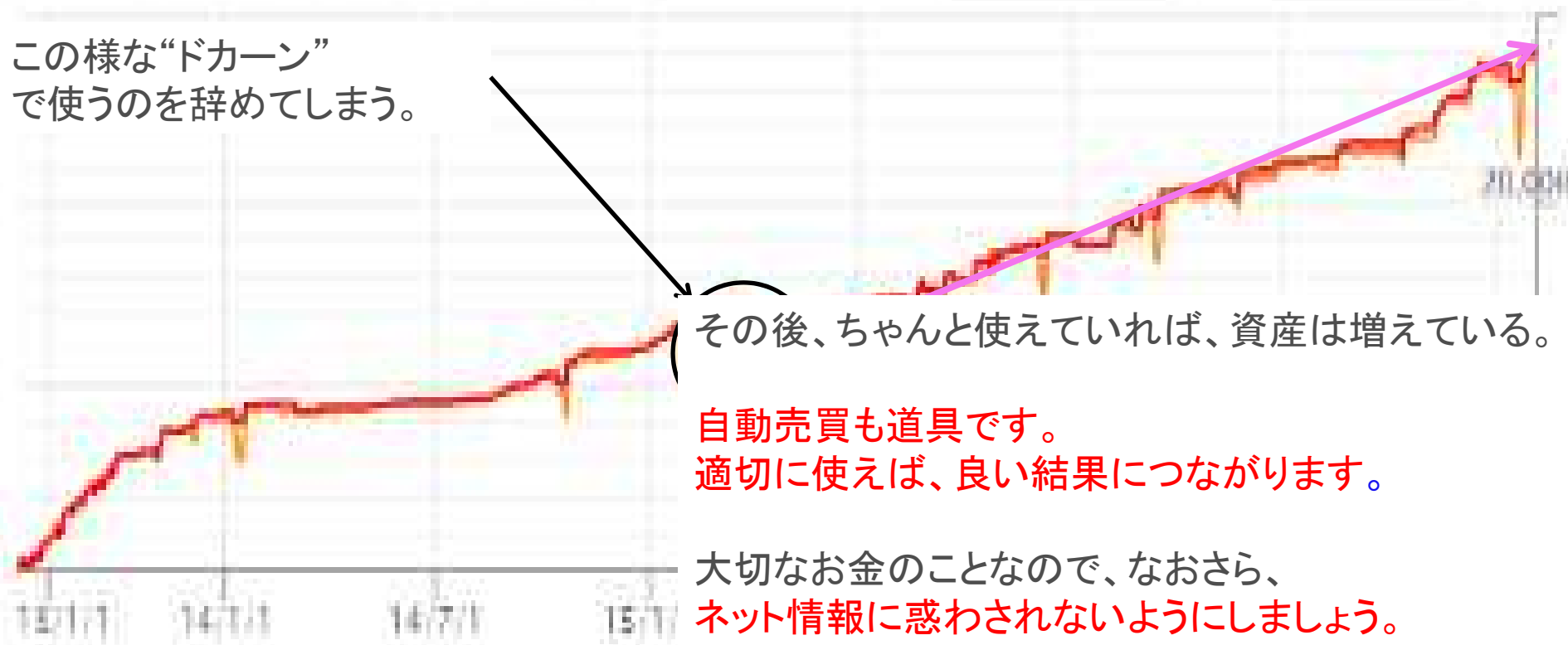
2012/08/31

～

2017/02/03

≡

この様な“ドカーン”  
で使うのを辞めてしまおう。



その後、ちゃんと使えていけば、資産は増えている。

自動売買も道具です。  
適切に使えば、良い結果につながります。

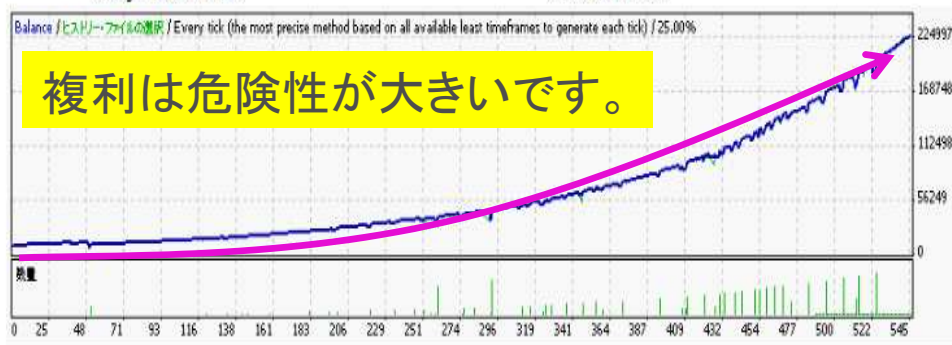
大切なお金のことなので、なおさら、  
ネット情報に惑わされないようにしましょう。



# 取引手法を駆使するための考え方①

Detail test	140707 / 140707	FX/USDT	140707 / 140707	FX/USDT	140707 / 140707
Mismatched charts errors	0				
Initial deposit	10000.00				
Total net profit	216020.94	Gross profit	388536.16	Gross loss	-172515.21
Profit factor	2.25	Expected payoff	397.10		
Absolute drawdown	3601.49	Maximal drawdown	61210.88 (34.25%)	Relative drawdown	51.66% (6838.78)
Total trades	544	Short positions (won %)	287 (87.80%)	Long positions (won %)	257 (88.72%)
		Profit trades (% of total)	480 (88.24%)	Loss trades (% of total)	64 (11.76%)
Largest profit trade			11817.65	loss trade	-8540.02
Average profit trade			809.45	loss trade	-2695.55
Maximum consecutive wins (profit in money)			25 (2194.10)	consecutive losses (loss in money)	2 (-13930.44)
Maximal consecutive profit (count of wins)			36317.56 (22)	consecutive loss (count of losses)	-13930.44 (2)
Average consecutive wins			8	consecutive losses	1

EAについて	バックテスト	フォワードテスト	統計情報	コミュニ
通貨ペア	[EUR/USD]			
取引スタイル	[スイングトレード] [マーチンゲール] [ナンピン]			
初期証拠金額	10,000.00	ドル		
最大ポジション数	3			
運用タイプ	複利運用			
最大ロット数	77			
使用時間足	M1			
最大ストップロス	300			
テイクプロフィット	45			
両建て	なし			
出品タイプ	メタトレーダー自動売買システム			
その他ファイルの使用	なし			
特記事項	基本的に無し。子玉が長期に残ると（ストップ300のため）、両建ても有り得ます。			



- ・テロ
  - ・トランプ大統領のツイッター発言
  - ・イベント・リスクによるレバレッジ規制など
- 色々なことにより、  
複利で膨らんだ大きいポジション数は  
強制ロスカットのリスクが存在します。

## 取引手法を駆使するための考え方②

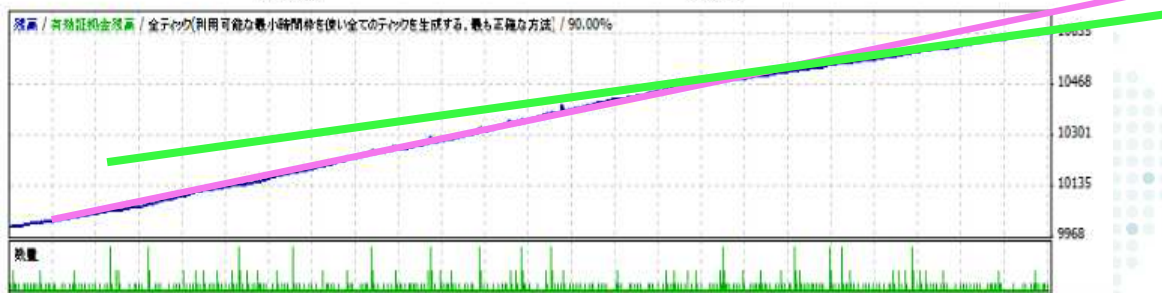
### Strategy Tester Report VictoryFX\_type1\_EURUSD FXDD-MT4 Live Server 6 (Build 610)

通貨ペア	EURUSD (Euro vs. United States Dollar)		
期間	5分足(M5) 2011.01.02 23:50 - 2014.02.27 23:55 (2011.01.01 - 2014.02.28)		
モデル	全ティック (利用可能な最小時間枠による最も正確な方法)		
パラメーター	M=" Risk management "; Magic=1905146; MM=true; Lots=0.01; LossC=900; LotRisk=1;		
テスト回数	225483 モデルティック数	54884906 モデリング品質	
不整合チャートエラー	0		
初期証拠金	10000.00	スプレッド	
総利益	637.96 総利益	1109.18 総損失	
プロフィットファクター	2.35 期待利得	0.65	
絶対ドローダウン	7.30 最大ドローダウン	292.99 (2.78%) 相対ドローダウン	2.78% (292.99)
総取引数	984 ショートポジション(勝率%)	576 (64.06%) ロングポジション(勝率%)	408 (62.25%)
	勝率(%)	623 (63.31%) 負率(%)	361 (36.69%)
	最大 勝トレード	26.32 負トレード	-10.70
	平均 勝トレード	1.78 負トレード	-1.31
	最大 連続(金額)	13 (20.40) 連続(金額)	3 (-25.29)
	最大化 連続(トレード数)	26.32 (1) 連続(トレード数)	-25.29 (3)
	平均 連続	2 連続	1

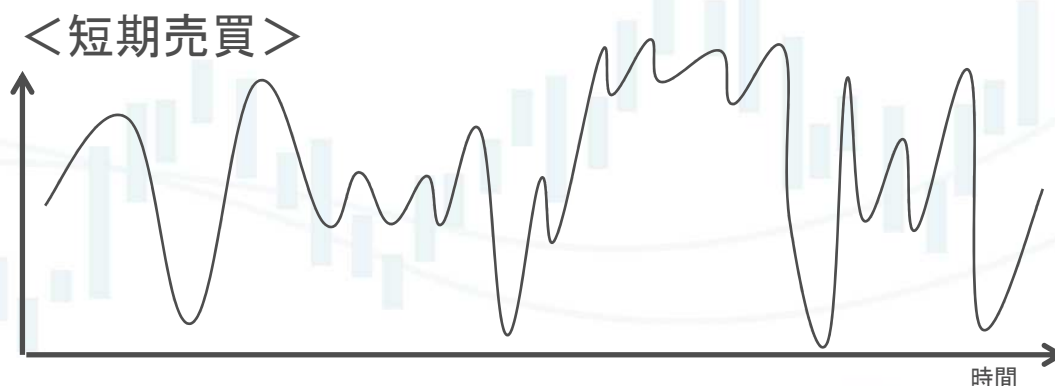
損益曲線の傾きが、  
近年になって下がっている。

⇒

ロジック または、パラメーターが  
近年の相場に合わなく  
なっている可能性がある。



## 短期売買と長期売買の考え方①



### <メリット>

ポジション保有時間が少ない。ストップロス値も小さく出来る。

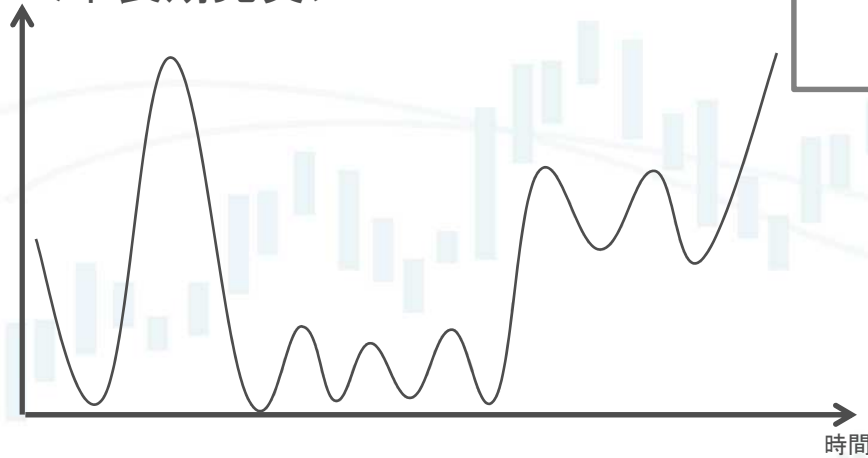
### <デメリット>

短い時間の中、不規則な相場変動の中、(長期売買に比べて)小さいボラティリティの中で利益を獲得するには、**緻密なタイミング調整が必要(緻密なタイミングでエントリーすることが必要)**。小さな挙動の中から小さい利益を獲得する操作が必要

⇒自動売買においては、**より頻度の高いパラメーター調整が必要!**

## 短期売買と長期売買の考え方②

### <中長期売買>



不確実な  
短期の挙動

多数集まって

長期の挙動

### <統計学>

確率論を基礎にして、  
不確実性を含む多数のデータから、  
一定の確実さをもった判断を下すことが目的

### <メリット>

ポジション保有時間が長い。  
利益幅が大きい。

### <デメリット>

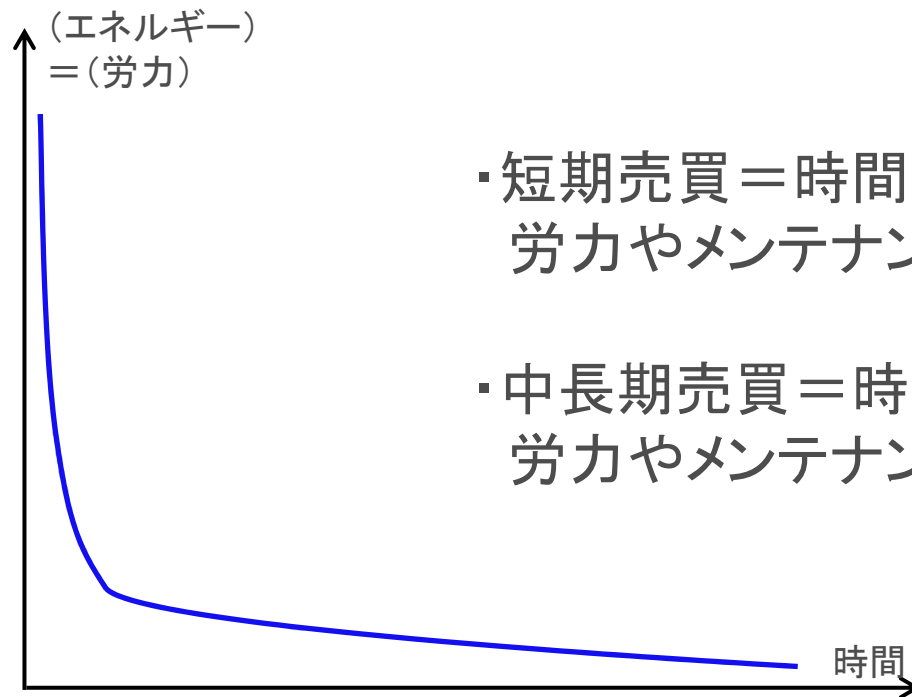
短期売買ほど緻密なタイミングで  
エントリーする必要はないが、  
その分ストップロス値が大きくなる。

最適化作業とは、  
利益を得やすいであろう  
可能性のある数値を見つける作業。

### 短期売買と長期売買の考え方③

$$\Delta E \times \Delta t \geq \frac{\hbar}{2} \Rightarrow (\text{エネルギー}) \times (\text{時間}) \geq (\text{ある一定})$$
$$\Rightarrow (\text{エネルギー}) \geq (\text{ある一定}) \div (\text{時間})$$

ここで、**(エネルギー) = かかる労力やメンテナンス・コスト** と考える。

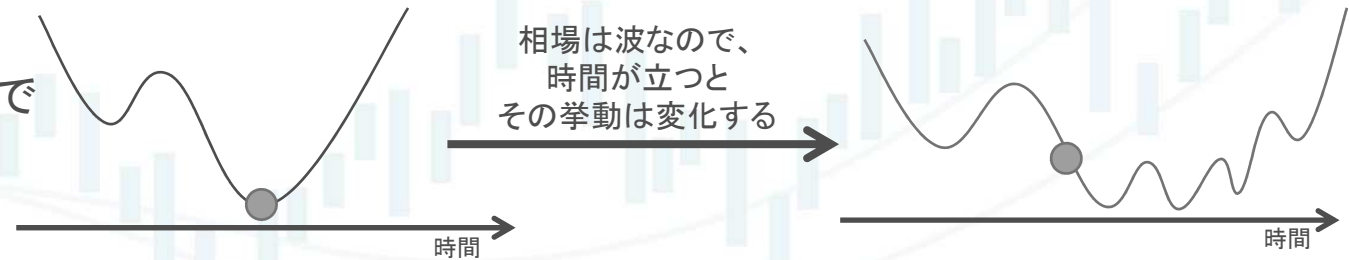


- ・短期売買 = 時間  $\Rightarrow$  短い  
 労力やメンテナンス・コストが必要
- ・中長期売買 = 時間  $\Rightarrow$  長い  
 労力やメンテナンス・コストが短期売買に比べて少ない

## 1ポジションと複数ポジションの考え方①

<1ポジションの場合>

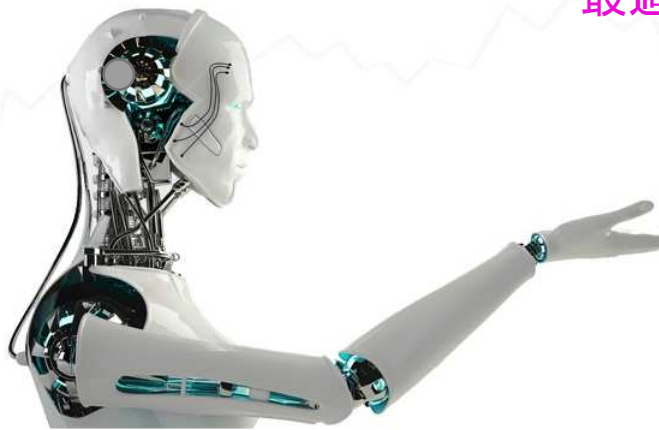
当初は、的確なタイミングで  
エントリー出来るように  
最適化を施した。



1つのポジションしか持たないので、ポジションサイズ・リスクは小さいが、  
すぐに相場の波のタイミングと合いにくくなる可能性が高い。

⇒

コマ目な最適化が必要  
最適化パラメーターの寿命が短い

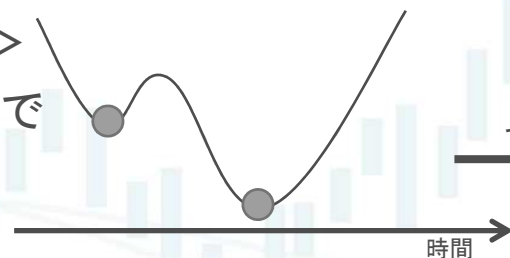


波のタイミングが変化したので、  
当初のパラメーターでは対応できず、  
ポジション保有時間が伸びたり、損失を抱えやすくなる。

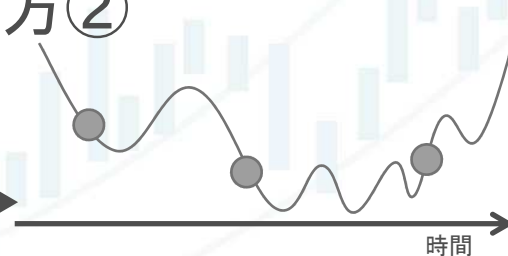
## 1ポジションと複数ポジションの考え方②

<複数ポジションの場合>

当初は、的確なタイミングで  
エントリー出来るように  
最適化を施した。



相場は波なので、  
時間が立つと  
その挙動は変化する

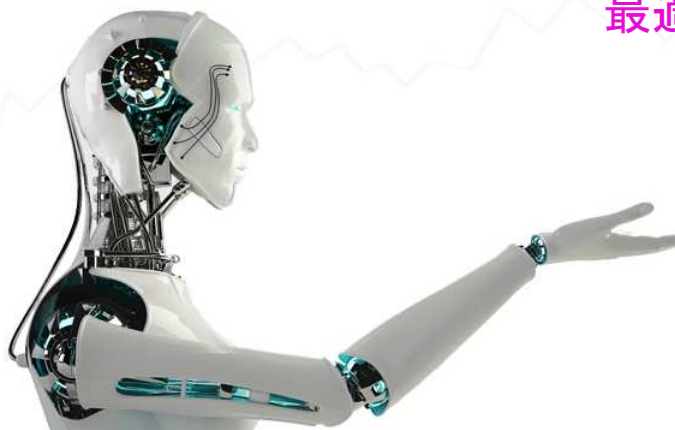


複数のポジションしか持つので、ポジションサイズリスクが大きい  
が、すぐに相場の波のタイミングと合いにくくなる可能性が小さい。

⇒

1ポジションほど、コマ目な最適化作業は必要ない。

最適化パラメーターの寿命が長い



波のタイミングが変化したので、  
当初のパラメーターでのエントリーポイントが  
多少ずれたとしても、  
複数ポジションでカバーすることにより、利益を狙いやすい。

## 1ポジションと複数ポジションの考え方③

### <1ポジションの場合>

- ・ポジション総数は1つ
- ・資金が少なくても出来る
- ・お金のリスク少ない
- ・パラメーターの寿命が短い

ポジション総数で最適化の手間を省いて楽が出来ない。  
資金(お金)のリスクを少なく出来る。

### <複数ポジションの場合>

- ・ポジション総数は複数
- ・資金が無いと出来ない。
- ・お金のリスク大きい
- ・パラメーターの寿命が長い

ポジション総数で最適化の手間を省いて楽が出来る。  
資金(お金)でリスクが大きい。

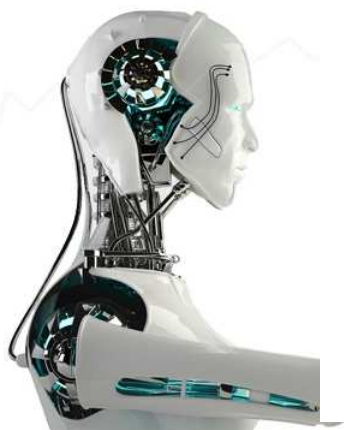
**資金も少なく、楽しんで、大金を稼げる方法は存在しない！**



## 自動売買の各条件についての知識①

### 【エントリー条件】

- 厳しすぎず緩すぎず  
厳しすぎる⇒エントリー回数が少なくなる。  
緩すぎる⇒エントリー回数が多くなりすぎる。
- 複数ポジション or 1ポジション
- 売りの挙動と買いの挙動は違う  
⇒売りのアクションと  
    買いのアクションの発動条件は違う  
⇒売りのパラメーターと  
    買いのパラメーターは別
- SLは必ず入れる。
- 複数のテクニカルを入れてみる。
- 独自のテクニカルを入れてみる。



## 自動売買の各条件についての知識②

### 【クローズ条件】

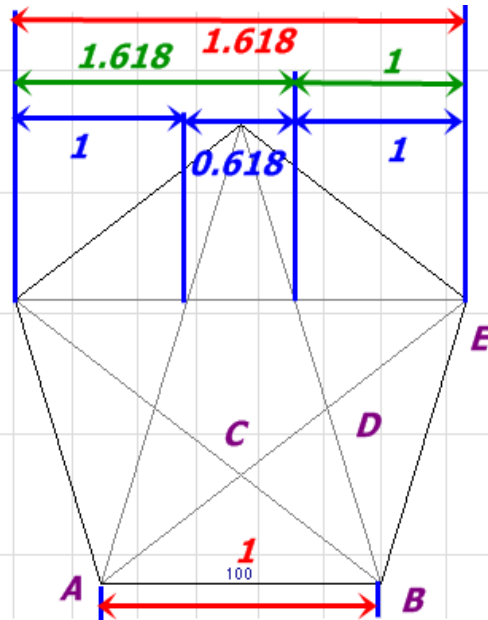
- ・相場の波は刻々と変化するので、  
複数のテクニカルでクローズタイミングを図る
- ・縦軸方向だけでなく、時間軸方向でもクローズタイミングを図る  
⇒黄金比や白銀比を使う。

<https://www.fxbreadnet.com/tech20.jsp> から引用



## 自動売買の各条件についての知識③

＜五角形は黄金比の宝庫＞



【その他の条件】

- ・トレーリングストップ機能を付ける  
⇒トレーリングストップ機能も  
複数入れてもOK

<http://fx.inet-sec.com/study/technical-manual/pentagonchart/> から引用 <http://www.hohono.com/> から引用



<http://piyokiri.blog66.fc2.com/blog-entry-2990.html> から引用

<http://inakaomoshiro.seesaa.net/article/377081540.html> から引用

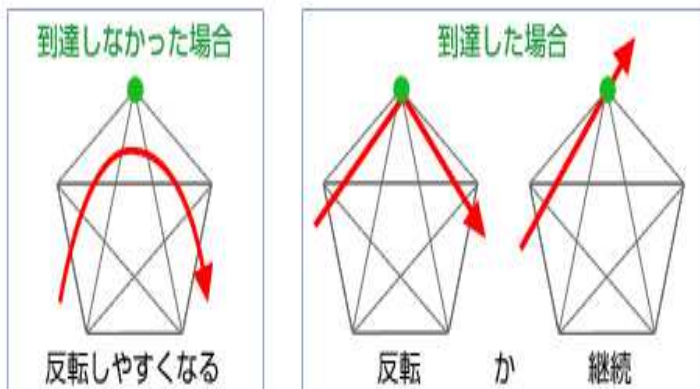
## 自動売買の各条件についての知識④

### ペンタゴンチャート®の中での値動き

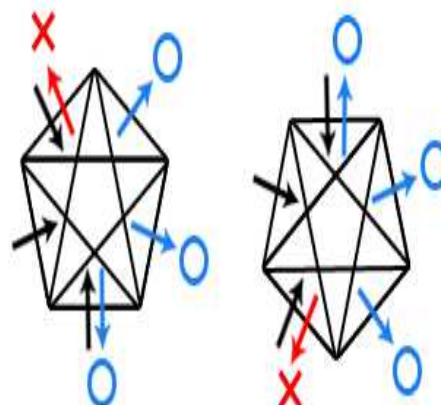
ペンタゴンの交点や頂点付近に位置するところの時間帯は値が変化を起こしやすくなります。各点に値が到達した場合は以降の動きに、上昇/下降に関わらず“新しいトレンド”が生まれやすくなります。

到達しなかった場合は、以降の値動きが反転しやすくなります。

各点(目標値)付近での以降の動き (●の位置は例です。)



### ペンタゴンチャート®の描き足し方



○ = 追加していい方向  
X = 逆行

直す必要があります。

値動きは、時間の流れと同様に左から右に動くので、ペンタゴンチャートも五角形の上か横か下に描き足されます(黒→青)。しかし、相場が急騰/急落して赤方向に描き足されることになった場合は右から左へと逆の動きになってしまうので、これを「時間の逆行」と言い、あってはならないこととされています。ですので、赤方向の辺は強烈な抵抗線や支持線になると考えられます。

もし、「時間の逆行」が生じた場合は、ペンタゴンチャートのスタート位置や大きさが間違っていたこととなりますので、描き